

# ガバメントクラウド以外のクラウド環境へ移行する場合の疎明

市区町村名： 奈良県大和郡山市

## 1. 性能面・経済合理性の比較結果

性能面・経済合理性等を比較衡量した結果、以下のシステムについては、ガバメントクラウド以外へのクラウド環境（富士フィルムシステムサービス 戸籍総合システム・ブックレス クラウドサービス）に構築されるシステムに移行することとする。

・戸籍システム、附票システム

具体的には、以下の比較票に示すとおりである。なお、経済合理性については、ガバメントクラウド投資対効果計算シート（令和4年9月16日デジタル庁）を基に富士フィルムシステムサービス株式会社が積算した金額を計上している。

### （比較表）

		ガバメントクラウド (クラウド事業者 名:AWS)	移行するクラウド環境 名(富士フィルムシ ステムサービス 戸籍総合 システム・ブックレス ク ラウドサービス)
性能面	非機能要件への適合	○	○
	DCの物理的所在地	日本	日本
	情報資産の国外持出制限の有無	有	有
	ガバメントクラウドとのデータ連携の可否	－	○※
	裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの	○	○
経済合理性	移行時の経費（イニシャルコスト） 単位：円	24,030,000	22,030,000
	移行後の経費（ランニングコスト） 単位：円／年	12,971,999	11,628,000
	その他経費比較		
その他重要な 比較項目等	（※比較に当たってその他重要な項目があれば記載）		

※戸籍情報システム/戸籍附票システムにおいて、当庁と「戸籍総合システム・ブックレス クラウドサービス」とのネットワーク接続を戸籍ベンダにおいて実施する。

一方、「戸籍総合システム・ブックレス クラウドサービス」とガバメントクラウドとのデータ連携については庁内ネットワークを通じて行うため、庁内ネットワークベンダとの調整を今後実施していく予定。

戸籍情報システム/戸籍附票システムの標準準拠システムへの切替日以降は、データ要件・連携要件に従って連携ができる旨、戸籍ベンダへ確認済み。

## 2. 比較結果の継続的なモニタリング実施計画

### ・継続的なモニタリングの実施予定

令和9年度から、毎年度、性能面の比較内容の変更点及び前年度の標準準拠システムの運用に要した経費の実績を公表するとともに、次期更新時期に向けたガバメントクラウドへの移行検討を引き続き行う。